

**Rotary Leadership Institute (RLI) Part I****プログラム概要**

分科会 (セッション) セッションの課題と概要

DL・担当者

**1. ロータリーに於けるリーダーシップ (Leadership/Characteristic/Goals)**

\*目的: ロータリーあるいはロータリークラブに於けるリーダーシップとは何か。  
個性的なクラブ造りのための目標設定と重要性について。

**2. クラブを超えたロータリー (Rotary Beyond the Club)**

\*目的: ロータリーの基本コンセプト、目標は何か。  
基本理念とロータリアンの責務について。

**3. 会員組織と会員維持 (その1・基礎編) (Membership Retention)**

\*目的: 会員維持と会員増強について。ロータリー会員数の推移と各地区の現状を理解、併せて効果的な会員補充プログラムを考える。

**4. ロータリー財団 (その1・基礎編) (Rotary Foundation Part 1)**

\*目的: ロータリー財団に関する基礎知識、教育的プログラムと人道的補助金プログラムなど財団の重要性について。

**5. 米山記念奨学事業 (その1・基礎編) (Special Program in Japan)**

\*目的: 米山記念奨学事業の簡単な経過、奨学事業の現状と重要性、寄付金の使途、財政の推移について。

**6. ロータリーの効果的な奉仕プロジェクト (Service Projects)**

\*目的: ロータリーに於ける奉仕プロジェクトの重要性、地域社会との交流とニーズの把握、計画的なプロジェクト開発などについて。

## RLI Part I セッション1 「リーダーシップと目的」

### (効果的なクラブ運営と目標設定)

#### 「本セッションの目的」

優れたリーダーが、リーダーシップを発揮し、効果的なクラブ造りを可能にする為には、目標設定が欠かせないとの想定です。マンネリ化を防ぎ、クラブの全会員が共有する目的を持ち、目的達成の為の戦略を立て、成果が評価できるシステムの導入が必要となります。ここでは効果的なクラブ運営に欠かせない目標管理の是非を討議します。

出来れば、事前に「効果的なクラブとは何か」をスタディして討議に臨みましょう。

#### 「主な質問事項」

1. リーダーシップとは  
定義  
ビジネス団体のリーダーとボランティア団体のリーダーの共通点と相違点
2. ビジョンとは？  
なぜ、ロータリーのリーダーにとってビジョンを持つことが重要なのですか？
3. ロータリーは、原則、単年度制ですが、クラブに「長期ビジョン」がありますか？  
年間目標はありますか？ 長期ビジョンは必要でしょうか？
4. 当該年度の目標は、誰が設定しますか？ その設定までのステップはどうされていますか？
5. 設定された目標は、全ての会員に周知徹底されていますか？ 他の委員会目標との整合性は、充分取れていますか？
6. その目標は、前年度の目標にとらわれない「新鮮さ」、「クラブの個性」が発揮されていますか？  
また「新鮮さ」、「クラブの個性」を取り入れるには、どうすれば良いと思いますか？
7. 設定された目標の内容に、無理はありませんか？ 一般的には、設定された目標は「MACS」を満たす事が求められます。どうでしょうか？

#### 「MACS」

- M=Measurable (成果が測定できる事)
- A=Achievable (目標が達成可能であること)
- C=Challenging (挑戦的な目標設定であること)
- S=Shared (参加者の間で目標を共有できること)

8. 目標は「ロータリーの目的」を推進する要因となっていますか？ 新会員候補者にとって、「入会したいクラブ」とは何でしょうか？ (まとめる)

## RLI Part I セッション2 「クラブを超えたロータリー」

### (クラブと地区、クラブと RI の関係について)

#### 「本セッションの目的」

国際ロータリーの組織規定が収録されている「手続要覧」の第1章には、「RIは、RI定款および細則に従って結成され現に存在するロータリークラブによって構成される」と明記され、国際ロータリー定款第2条に「RIは世界のロータリークラブの連合体である」と明記されています。このセッションでは、ロータリーとはどんな組織か、RIの存在意義と役割、そして地区とクラブの関係、更には、ロータリーの停滞、後退を防ぎ、日々進歩するロータリーが、それぞれのクラブ、個々のロータリアンに依存することについて討議します。

#### 「主な質問事項」

1. 先ず冒頭に伺います。ひと言で云ってロータリーとは何でしょう？  
(あなたに、誰か尋ねましたか？ あなたはなんと答えましたか？)
2. (1) あなたはロータリーの目的をどう捉えていますか？  
(2) 「綱領」を読みましたか？  
(3) 「五大奉仕」を言ってみて下さい。  
(4) 「四つのテスト」の意味をどう解釈していますか？
3. さて、国際ロータリー (RI) について伺います。  
(1) RI とあなたのクラブはどうつながっていると思いますか？  
(2) RI は必要だと思っていますか？  
(3) 地区の存在についてはどうですか？  
(4) クラブ単独ではいけませんか？
4. (1) 個々のロータリークラブは、RI の定める定款、細則に従って結成されています。  
クラブでの活動に問題を感じていませんか？  
(2) RI はクラブの自治権を侵していませんか？
5. 個々のクラブにとって、RI の存在、地区の存在について考えてみます。  
(1) 組織的に見て RI はクラブを指揮していますか、サポートしていますか？  
(2) 地区の存在は？  
(3) ガバナーの役割は何でしょうか？
6. 地区の役割はクラブ支援です。どうしたら必要な支援が得られますか？
7. ロータリーは絶えず変化をしています。代表的な情報は、3年ごとに刷新されるロータリー手続要覧に載りますが、その他どんな情報をどこで取り込めますか？

(注) このセッションでは、「ロータリー財団」、「RIプログラム」については言及しません。これらは別のセッションで扱うものとします。

## RLI Part I セッション3 「会員組織と会員維持」

### (会員維持と会員増強、効果的な会員補充プログラム)

#### 「本セッションの目的」

会員増強、会員維持（退会防止）の問題は、個々のクラブの問題のみならず、現在ではロータリー全体の課題です。RI も、昨今の会員減少傾向は、ロータリーの存続問題として、会員の維持、強化拡大に取り組んでいますが、この課題に容易な解決案がない事もご承知の通りです。クラブには個性があり、理想的な会員数についても、クラブごとに異なった考えがあると思われまます。先ず、RI 全体の会員数、日本の会員数経過を検討、更には地区ごとの会員数の推移と現状を理解、併せて効果的な会員補充プログラムを討議します。

#### 「主な質問事項」

1. まず、参加者に、(自己紹介を兼ねて) 自分のクラブの会員数とその増減推移について伺います。ここ5年位の期間をみて、会員は増加していますか？横ばいと言う所はありますか？ 減少でしょうか？
2. では、その背景(原因)について伺います。会員数が減少傾向、又は減少した理由は何ですか？それぞれのクラブはほぼ同じ問題との認識ですか？
3. 入会者が少ない事、退会者が後を絶たないことにはどのような理由がありますか？入会促進、会員維持の施策は何でしょうか？
4. 新会員セミナー(研修)はクラブ内で行われていますか？主催者側(クラブ役員)からは、どんな方が参加されていますか？
5. (1)新会員に、積極的に委員会活動への参加を呼びかけていますか？  
(2)例会の席はどのように決めていますか？  
(3)例会外活動への参加状況はどうですか？  
(ア)奉仕活動 (イ)親睦活動
6. 新会員勧誘は、会員全員の課題となっていますか？増強委員会の仕事となっていませんか？あなたのクラブではどんな工夫がなされていますか？
7. 新会員候補者の発掘方法について伺います。どんな方法がなされていますか？クラブの例会に新会員候補者を招待していますか？

## RLI Part I セッション4 「ロータリー財団（基礎編）」

### （ロータリー財団の基礎認識）

#### 「本セッションの目的」

ロータリー財団は「難しい」「分かりにくい」と言った声が多く、また寄付を集めることばかりが先行し、本当の財団の姿を理解している人が少ないのが現状です。この RLI に参加された方に、「どうしてロータリー財団は必要なのか?」「なぜロータリー財団は重要なのか?」をまず理解していただき、ロータリー財団に対する関心と理解を深めていただくことを目的とします。

#### 「主な質問事項」

1. いつ、どのようにしてロータリー財団が誕生したか知っていますか?
2. ロータリー財団は、どんな活動をしていますか?  
→ロータリー財団のプログラムを知ることによって、逆に自分のクラブでも使えるプログラムがあることを把握していただきます。
3. あなたのクラブで行ったことのあるロータリー財団のプログラムを教えてください。  
→自分のクラブで行ったプロジェクトでも、担当者でなければ、その内容はほとんど知らないのが実態です。
4. あなたのクラブにカンボジアから井戸掘りのプロジェクトへの協力依頼が来ました。プロジェクトの総額は 15,000 ドルです。あなたのクラブでは、協議の上、このプロジェクトに協力することに決まりました。そして、あなたはクラブからこのプロジェクトの担当者になることを依頼されました。この場合、あなたはどうしますか?  
→具体的な例をあげて、もし自分がその立場になったらどうするかを考えていただきます。経験によって差はありますが、ほとんどの方は何から手をつけたら良いか、分からないと思います。このようなケースで具体的に進めるヒントを与え、自分でも可能にすることができることを感じていただきます。

## RLI Part I セッション5 「米山記念奨学事業」

### (米山記念奨学事業の基本と事業の意義)

#### 「本セッションの目的」

ロータリー米山記念奨学事業は、日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業プログラムです。1952年にスタートしましたが、1967年、現文部科学省を主務官庁とする「財団法人ロータリー米山記念奨学会」が設立されました。全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給する、世界で類を見ない日本独自の、「多地区合同奉仕活動」です。このセッションでは、奨学制度の基本、及びこの事業の意義を中心に、事業全体の概要を学ぶ基礎編です。

#### 「主な質問事項」

1. ロータリーには外国人学生に対する支援プログラムが幾つかあります。どのようなプログラムがあるでしょうか？
  - (1)対象となる学生はどのような学生ですか？
  - (2)そのプログラムの提唱者は誰でしょうか？
  
2. ロータリー米山記念事業の奨学金の原資は、日本の34地区のロータリアン、クラブ外の米山学友などの篤志家の寄付金で全て賄われています。この寄付金について、どのようなお考えをお持ちでしょうか。
  - (1)寄付したことがある。
  - (2)寄付は強制ですか？
  
3. (1)ロータリー米山記念事業について、
  - 年間の奨学生採用数何人ですか？
  - 事業費は幾らですか？
  - 支援学生数は累計は、何人ですか？
 (2)米山記念奨学生と接したことがありますか？
  
4. この「事業の意義」について伺います。どんな意義があるのでしょうか？
 

直接には出身国と日本、大きくは国際社会でしょう。これらの意義について意見を伺います。では、ロータリー、ロータリアンにとってはどうでしょうか？

  - (1)国際親善理解について
  - (2)それが実際の両国の親善に影響を及ぼしていますか？
  
5. 今後この事業の方向性（拡大又は縮小）についてどう思いますか？
  
6. どうしたらロータリアンにもっと理解を深めて頂く事が出来るでしょうか？ 広報活動についてどう考えますか？

## RLI Part I セッション6 「ロータリーの効果的奉仕プロジェクト」

### 「本セッションの目的」

ロータリーは専門職務および地域社会のリーダーである会員が有意義な奉仕プロジェクトに取り組んでいます。ロータリーには「5大奉仕部門」があり、これらは、クラブが効果的に機能するクラブ奉仕、ロータリアンがそれぞれの職業を通じて他の人々に奉仕する職業奉仕、それぞれの地域社会への社会奉仕、更には、人道的援助活動を中心とした国際奉仕、次世代を担う青少年を育成する新世代奉仕などです。ロータリー活動は世界的なネットワークで展開されており、このセッションでは、効果的な奉仕プロジェクトとは何か？を学ぶことを目的に討議します。

### 「主な質問事項」

1. 先ず、基本的な問題です。  
ロータリーでいう「効果的な奉仕プロジェクト」とは何でしょうか？
2. 奉仕活動は現実的な問題（課題）に応えることが肝要と考えます。  
(1)もし、あなたがクラブで新しく奉仕プロジェクト委員長、もしくは奉仕プロジェクトを実施する責任者になった場合、最初に何をしますか？  
(2)地域社会のニーズをどう把握しますか？
3. プロジェクトに必要なリソース（人材、資源）を把握した上で実施が可能となります。  
(1)必要な資金をどう調達しますか？  
(2)クラブ会員、地域社会の支援は？
4. 資金調達に関連した問題について伺います。  
(1)クラブの年会費と社会奉仕プロジェクトの資金調達は分けるべきでしょうか？  
(2)必要資金の調達はどうしますか？  
(財団補助金などの活用、他クラブ、地域団体などとの協力は？)
5. 奉仕の恩恵を受ける人々の技能や知識の向上を取り込んだプロジェクトが望ましいと考えます。  
どのような方策でこのようなプロジェクトを行うことができますか？
6. 広報活動はどのように行いますか？
7. どうすればプロジェクトの成果を評価、測定すること（システム）ができますか？
8. プロジェクト継続の必要性について検証する為にはどうすればよいですか？